



ネットワークの力で中断させない



ひきこもり支援の実態

支えてねネットワークは地域の作業所に行けなくなった利用者の居場所事業としてスタート、その後、行き場のないひきこもりの人たちや家族の相談場所として利用されるようになりました。

2017年に行ったひきこもりの調査では、新規相談として支援につながっても、およそ半数は支援が中断してしまうことが分かりました。中断してしまう理由として、**ひきこもっている当事者と接点を持ち続けることができない**ために支援が継続できないということがわかりました。

支える力

2018年から、市や医療機関、社会福祉協議会、NPOといった多様な機関と連携し、「**山口市ひきこもり支援者ネットワーク**」を結成、定期的な事例検討会や情報交換会を行っています。一度支援につながった人が、再びひきこもることがないように、各団体それぞれの強みを知り、協力して当事者とその家族を支えています。

本人の“周り”から支える

支援機関に**つながった人とつながり続ける**ためには家族への支援も重要として、家族支援のノウハウを学ぶ勉強会、家族が接し方を学ぶ勉強会を実施、当事者の周りから支えることにも取り組みました。



支援スキルの勉強会

各団体のスキルアップの取組として、相談対応に関わる機関が共に学ぶ機会となるケアマネジャー対象の実態調査報告会やひきこもり当事者を理解するための発達障害に関する勉強会を開催しました。

これらネットワーク会議で生まれた「相談時につかえるリーフレット」は、地域包括支援センター等で相談を促すツールとして活用されています。

実践的に学べる「家族塾」

ひきこもっている当事者の家族同士が、具体的な生活場面を想定しながら、接し方を一緒に考えて実践的に学べる**グループワーク**を行いました。他の家族の発言を聞いて自らを振り返り気付くことが出来た等の感想もあり、個別相談とは違うグループワークならではの効果もみられました。

支えてねネットワークは、ひきこもり本人とその家族を孤立させないように、今後も支え続けていきます。



認定特定非営利活動法人
支えてねネットワーク
(山口県山口市)

事業名 ひきこもりとその家族を地域で孤立させない事業

助成金額 600千円

URL <https://sasaetenetwork.com/>